



無所属 真美子 6
ふるさと納税制度について

問 本年6月1日より指定制度が施行された。本市へのふるさと納税は少額にとどまっているが、他の自治体と比較し、状況をどう捉えているか。

答 財政部長 先進自治体は「こどもたちへの食事の宅配」などの事業を分かりやすく説明し、寄附者の共感を呼んでいる。本市はこうした取り組みにさらに工夫の余地がある。

問 汚水に侵入する不明水量の割合を県内平均まで改善できれば、年間2億円以上のコスト削減が見込める。改善に向けて重点的に取り組むべきでは。

答 上下水道局長 汚水の処理施設を管理している埼玉県と協力し、多量の雨天時浸入水が見込まれ、重点的に対策を講ずべき地域を絞り込む調査を実施し、その調査の結果を踏まえて、雨天時浸入水を調査し、不明水対策に関する計画を今年度中に策定する予定である。また、老朽管対策などで実施する下水道管の調査なども有効に活用し、有収率の改善に向けて総合的な不明水対策に取り組んでいく。

問 文化財保護行政

答 文化財保護行政 下水道事業の有収率



公明党 大泉一夫 8
共通投票所への変更の考え

問 全国の自治体で、有権者が投票所を選べる共通投票所への変更が行われている。市民の利便性のために本市も変更すべきと考えるが、市の考えは。

答 選挙管理委員会事務局長 共通投票所については、大規模商業施設等の人が集まる利便性の高い場所に設置することで、投票しやすい環境が整備され、投票率向上に一定

問 今後、ホテル開業や増形産業団地整備等で送迎バス等のさらなる増加が予想される。川越駅西口周辺の中長期的な送迎バス対策への市の考えは。

答 都市計画部長 送迎バスは、特定の企業の従業員や学校の児童・生徒の送迎のため、運行されているものであり、本来は、乗降場の確保をはじめと



自由民主党 海沼秀幸 10
防災士の有効活用を

問 防災・減災の知識があり、訓練等を受けている防災士が本市には、215名いる。自主防災組織の支援等で活用することについて市の考えを問う。

答 危機管理監 大規模災害時には、行政だけの対応には限界があるので、防災士などに地域の自主防災活動に参加してもらい、地域の助け合いである共助の取り組みを高める必要がある。

問 中福交差点は、通学路にもなっているが、大雨の時は、雨水が湖のような状態になる。今後どのように対応していくのか。

答 建設部長 県道川越所沢線の中福交差点付近が大雨時に冠水していることは認識しているが、当該箇所の雨水対策については川越市道のみでの対応は難しいことから、県道を管理する川越県土整



政晴会 樋口直喜 7
下水道事業のコスト削減を



自由民主党 栗原瑞治 9
川越駅西口周辺のバス事情



公明党 中村文明 11
中福交差点の今後の対応は

備事務所とも協議をしていきたいと考えている。



福原地域の諸課題 防犯のまちづくり